

4 時代区分 (147-)

① (147-155) 「性は近代に抑圧され、20世紀には解放されていく」という図式の批判。

時代区分：

- 1) 抑圧論者のもの：17世紀に禁止の強化、20世紀に相対的弱まり、1970年代には「性の抑圧」＝「政治的抑圧」という運動（ライヒ）の高まり
- 2) フーコー：性の管理は中世に始まる（告解）、真の断絶は18世紀末（教会制度からの脱却）
 - ① 少年の性の教育
 - ② 倒錯した身体と正常な身体（身体の医学化⇄道德の問題ではない）
 - ③ 人口学（出生率の管理という国家的問題。
→「性的本能」という考えもココに生まれる
倒錯の医学化、優生学（150）
- 3) 「変質」－「遺伝」－「倒錯」→ 国家的人種差別の萌芽（151）

②ブルジョワジーが貧困階級を性的＝政治的に抑圧したのではない。ブルジョワジー自身がじぶんに新たな「性的な身体」を与えたのだ。（155）

- ・ 性的身体への管理は「有閑夫人」をはじめの対象とした。
- ・ それが「貧困階級」に広がったのは19世紀半ばから
- ・ 性的な主題への関心の強化は、ブルジョワジー自身が自分の身体を「陶冶（culture）」しようとした結果である。身体をとおした自己確認。

3 それではなぜ性は「抑圧」「禁止」といったタームで語られるのだろうか。フーコーは、こうした現象そのものが、セクシュアリティの装置の発展の一形態である。

- ・ 「性的なもの」の普遍化→ブルジョワジーは「近親相姦の禁止」について語ることで、みずからの性的身体を、特殊なものとして差異化しようとした。それが「精神分析」である(163)
- ・ だからライヒのように、性的抑圧を政治的抑圧と同一視し、性の解放を政治的な革命と同一視することは、セクシュアリティの装置にいわば踊らされているのにすぎないのだとフーコーは言いたいのであろう(166)

用語 (病的) 変質 : degeneration:dégénérescence

精神医学者モレル(1809-73)が提唱した概念で、人間の正常な在り方からの逸脱のすべてを指す。精神異常のみならず、遺伝的退化、アルコール中毒などと結びつけられ、優生学の端緒ともみなされる。